

➡ 9月16日 オンライン講演会レジメ内容

1. 講師プロフィール紹介

2. (株)スロー風土・ナチゅ村の沿革と取り組みについて

- ・ナチゅ村のコンセプト 「食を通して緩やかに社会を変える」
- ・地産地消を基本として、地域のまじめな生産者やメーカーとつながって、消費者・生産者やメーカー・流通者がそれぞれにメリットがある仕組みづくりを目指す。
- ・消費者➡農薬や化学肥料を使わない有機・自然栽培の農産物や伝統製法による本物の調味料(醤油・酢・味噌・酒・みりん他)や添加物を使わない加工品を提供
- ・生産者やメーカー➡安全な農産物や無添加・伝統製法の加工品を食べる消費者とのマッチング
- ・流通者ナチゅ村➡こだわりの生産者・メーカーと消費者の橋渡し九州を中心に全国300ヵ所の生産者、メーカーと提携

3. ナチゅ村の取り組みー

① 消費者への啓蒙活動ーお母さんの為のオーガニックセミナー12年間継続

- ・生産者・メーカーを招いてのお話し会・勉強会(・自然栽培・有機栽培についてみそづくり・醤油づくりセミナー・油についての学習会や蜜蝋燭づくり他)
- ・講演会活動ー「感染を恐れない暮らし方」本間真二郎医師&吉田俊道さん 600名
2024年3月24日「日本の食と農を守り子ども達にオーガニック給食を」講演会
講師 東京大学大学院鈴木宣弘氏・山田正彦(元農水大臣) 西部ガスホール 500名を予定。
- ・加藤登紀子「こち酔いコンサート」➡自然栽培米による酒造りの推進の為
- ・生産者大交流会ー100名規模で生産者同士の交流とマッチング(毎年)
 - ・国産小麦製粉メーカーとパン屋さん、お菓子屋さんとのマッチング
- ・自然栽培米農家とナチゅ村と酒蔵とのコラボによる酒造り自然酒「風の民 土の民」同じく、庄分酢さんとのコラボによる自然酢づくり➡自然栽培を取り組む農家を増やす

② 新規就農者への支援ーナチゅ村千早店・パルコ店での販売、販路の紹介でサポート
有機農業や自然栽培を目指す新規農家への支援

③ 生産者バスツアー➡ 酒蔵・酢蔵見学ツアー、熊本有機フェスタバスツアー他
生産の現場を見て、直接生産者やメーカーの話を聞く。
有明海苔づくり見学

④生産者産地訪問ー社員・スタッフ

4. 私たちを取り巻く食と農の状況についてー

① 世界の食糧事情ー

・ 8 億 2000 万人のアジア・アフリカの人達が飢えている

② 国内の農の状況一

・ 種子法の廃止(2018 年) 種子法とは? →戦後「二度と国民を飢えさせない」という時の政府の決意と覚悟が込められた法律一各県で主食である米・麦・大豆の種子を選抜し高品質の種を安定して農家に供給するための法律

・ 遺伝子組み換え表示の改悪

・ 食品表示法の改悪

・ 県別食料自給率について(別紙参照)

・ 福岡県の農産物の農薬散布の慣行レベル(別紙参照)

5. 今後、私たちが取り組まなければならない事一

・ 「飢えるか?植えるか」 ウクライナ侵略で影響を受ける世界の小麦事情、化学肥料の輸入ストップ。石油の高騰。全ての物価の上昇、中小企業の疲弊。

日本人の貧困化一世界の中で日本は益々貧しくなっているのに気が付いていない!

子どもの 7 人に一人が貧困。

29 歳以下の平均所得 177.8 万円 30 歳から 39 歳 174.8 万円。

この国に未来はあるのか?

・ ナチゅ村が考える今後の取り組みとは?

・ 輸入がストップしても生き残って行く為には一

①地域の生産農家、地場メーカーとの地域内流通

②農薬・肥料を使わない自然農法の推進

③石油を使わないライフスタイル (BDF・脱プラ・非化学物質)

④F1 を止めて自家採取、固定種。

⑤自給農業の推進。自社農場づくり

⑥九州独立一九州経済圏

⑦エネルギーを余り使わないライフスタイル。省電気・省石油

⑧地熱・太陽光・バイオマス発電など自然エネルギーの推進。